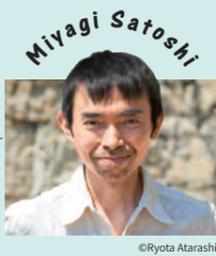




東京芸術祭2020

Tokyo Festival 2020 総合ディレクター：宮城聡



東京芸術祭を、作品に触れた人の思考の風通しがちょっと良くなる場所にしたい。

「東京芸術祭2020」が、9月30日から11月29日まで開催される。「東京芸術祭」は2016年にスタートしたが、今回の開催は、これまでのどんな年とも異なる重みを持つ。新型コロナウイルスの完全な終息がまだ見えない現在、大型イベントの開催には例年以上に入念な準備が必要であり、また、企画にもさまざまな制限がかかる。海外演劇祭の中止や延期が目立つ中、オンラインや屋外公演と並行しながらも開催を選んだ理由は何か、総合ディレクターの宮城聡に聞いた。

—「東京芸術祭2020」のホームページトップには「東京の魅力ってなんでしょ？」ひとつだけ挙げるなら、やっぱり多様性ではないでしょうか。いまこそ、改めてこの魅力を取り戻す時です。精神に自由な外出をさせましょう」という宮城さんの言葉が掲載されていますが、その内容をもう少し詳しく説明していただけますか。
宮城 自分自身も含めてなんですが、世界中の人がステイホーム期間中に二分法的な思考に陥ってしまった気がするんです。コロナ禍という非常事態に遭遇して、多くの人が「自分と同じ考えの人＝味方、それ以外の人＝敵」と分けがちになる。たとえばZoom飲みを考えてみてください。移動の費用も時間もかからず世界中つながるチャンスなのに、結局、気心の知れた人とはばかり喋っている。それは孤立している人が一層孤立するということであり、排外主義が広まりやすくなることで、非常に怖い状況です。

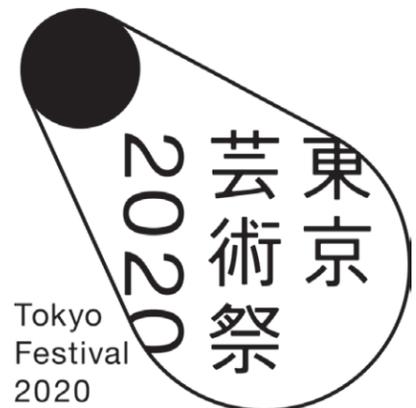
そんな中で改めて東京の特性を考えてみると、住んでいる人がメトロポリタンとか、精神的な移民とか、「私の中に味方も敵もいますよ」「自分は日本人だけど他者でもありますよ」という感覚を持っている人が多く暮らしている点だと思うんですね。その機能を蘇らせたい。そのために、微力ながら東京芸術祭が役に立てるのではないかと考えました。
—宮城さんがおっしゃる多様性とは、ジェンダーや人種や障がい、世代や職種だけでなく、ひとつの考えや場所に凝り固まっていくことを自分達で批評できる力のことであるのでしょうか。
宮城 そうです。私も、1円でも多くのお金をコロナ対策に使うほうがいいのではという葛藤がありました。でももし日本がひとつの考えしか認めないような社会になってしまったら、それはポキッと折れやすい、脆弱な国になってしま

まうということですよ。そうなってしまわないよう、舞台芸術という文化に税金を投入してもらい、ひとつの方向から風が吹いたら全員が倒れるようなことのない、ある種のしぶとさを国民が維持できるよう寄与するのも大切なことだと思ったんです。
—「東京芸術祭」という名前から漠然と、東京が持つ東京らしさをさまざまな舞台芸術で打ち出していくようにイメージしていたのですが、お話を伺っていて、東京が気付いていない東京らしさや、東京がこれからどうなりたいかを掲げる芸術祭なのだと思いが改まりました。
宮城 東京で暮らしている人って、東京以外で生まれた人も多いじゃないですか。満員電車とか大変なこともいろいろあって、「なぜ自分はここにいるのかな？」という気分になることもあると思うんです。でも、言葉にはしていないけれども、価値観が多様な東京は生きやすいと

いう人がたくさんいると感じています。「東京芸術祭」は、そういう人達にこそ届けたい。
—具体的な上演作品についてですが、オンラインも活用、池袋西口のグローバルリングでの屋外公演も含め、感染防止対策をしながら劇場公演も行うと。
宮城 参加アーティストからは前向きなアイデアが次々出ていて非常に頼もしいです。例えばグローバルリングの『NIPPON・CHA! CHA! CHA!』は、東京2020大会閉幕後を意識した企画だったのがその通りには行かなくなりましたが、演出の中島諒さんがドキュメントの方向に舵を切りました。タニノクロウさんは、日本各地でその土地に合わせて上演を重ねてきた『ダークマスター』という作品をVR版として作り直してくれるそうです。
演劇は密だと認識されていますが、歴史をたどると決してそうではなく、少ない人数の俳優が向き合うことなくせりふを言っていた時代もある。「東京芸術祭2020」はそうした先入観を更新してもらう場にしたいし、作品に触れた人の思考の風通しがちょっと良くなるという、思考や精神が外出する場所になればいいなと思っています。
文：徳永京子（演劇ジャーナリスト）



東京芸術祭2020 2020(令和2)年9月30日(※)～11月29日(◎)(予定)
東京芸術劇場、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、東京建物 Brillia HALL(豊島区立芸術文化劇場)、GLOBAL RING THEATRE(池袋西口公園野外劇場)ほか 池袋周辺エリア
【プログラム詳細】東京芸術祭2020公式サイト <https://tokyo-festival.jp/2020/>
【チケット予約】東京芸術祭チケットサイト <https://tokyo-festival.jp/2020/ticket/>



野外劇「NIPPON・CHA! CHA! CHA!」

10月18日(◎)～10月25日(◎)
毎日 17:30 開演 *17日(◎)公開ゲネ・19日(◎)休演日
「GLOBAL RING THEATRE」(池袋西口公園野外劇場)
詳細はHPへ
作:如月小春 上演台本・演出:中島諒人(鳥の劇場)
<https://tokyo-festival.jp/2020/>



稽古風景 撮影：大中小

芸劇オータムセレクション「ダークマスター VR」

10月9日(金)～10月18日(◎) *14日(◎)休演日
東京芸術劇場シアターイースト 詳細はHPへ
原作:狩撫麻礼
画:泉晴紀(株)エンターブレイン「オトナの漫画」所収
脚色・演出:タニノクロウ
<https://www.geigeki.jp/performance/theater249/>

